

国際安全保障学会

2020 年度年次大会

Japan Association for International Security

Annual Conference 2020

オンライン大会

2020 年 12 月 5 日～6 日（土・日）

## 年次大会のご案内

会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。2020 年度年次大会のプログラムをお届けします。

2020 年は、新型コロナウイルスが世界を席卷し、国際安全保障の世界も多大な影響を被りました。多くの外交交渉や国際交流は中止や延期を余儀なくされ、軍隊内でもクラスターが発生し、配備や訓練の見直しが相次ぎました。そのような制約を逆手にとって、攻勢に出るような動きも世界で見られました。

ある国の指導者は、「COVID-19 はすぐに消えてなくなる」と言いましたが、雲散霧消したのは一字違いの CVID（完全かつ検証可能で不可逆的な核廃棄）のほうです。自然はしぶとく、その一方で人工的な平和の構想やその期待が如何に儂いものであるかを改めて思い知らされます。

すぐに消えるはずもない COVID-19 のために、我が学会の年次大会も全面的にオンライン（ZOOM）での実施となります。オンラインだからこそ、より多くの会員の皆様に結集していただけるのではないのでしょうか。特別講演では、国家安全保障局長を長年務められた谷内正太郎様を講師にお迎えします。貴重なご経験に基づいたお考えを拝聴できると思います。プログラム全体も、会員の皆様の多種多様な関心に触れるように準備いたしました。

今回は、参加登録と参加費のお支払いもネットで行っていただきます。報告者の資料のアップロードやダウンロードも大会専用サイトで実行します。例年と違うので、もしやお手数に感じるかもしれませんが、何卒ご容赦ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2020 年 10 月

国際安全保障学会 大会プログラム委員会

### 今後の参加登録の手続きにつきまして

株式会社 Atlas の Confit というオンライン・プラットフォームを使用します。**参加登録は 11 月上旬に開始する予定で、会員宛てメールやホームページなどでご連絡します。**

ここで概要だけお知らせしますと、まず、<https://jais.confite.atlas.jp/login> から参加登録システムに入って、新規登録するために氏名やメールアドレスなどを入力します。それが完了するとお手元にメールが届きますので、本文内のリンクをクリックして、参加登録のためのマイページにログインします。そこで、参加区分（会員か非会員か）と、参加費決済（クレジットカードのみ）の入力が完了すると、決済代行会社からは決済完了メールが、Atlas 社からは大会専用サイトにログインする ID とパスワードが記載されたメールが届きます。それを取得して初めて大会専用サイトに入れます。専用サイトには、報告者の資料、タイムテーブル、ZOOM 招待 URL などがアップされます。

今後のご連絡にご留意くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

12月5日(土)

◆セッションⅠ

10:00～11:40

部会① 大戦略と不確実性

報告

冷戦後の米国グランド・ストラテジー

大友貴史(筑波大学)

米中の大戦略同時破綻と東アジアの戦略環境

阿南友亮(東北大学)

柔軟戦略論への懐疑—日本の文脈で考える

川崎剛(サイモンフレーザー大学)

討論

梅本哲也(元静岡県立大学)

司会兼討論

赤木完爾(慶應義塾大学)

◆セッションⅡ

13:00～14:40

部会② 【自衛隊部会】日米同盟の発展に向けて—日米共同の現場から

報告

陸上自衛隊の部隊からみた同盟の進展

烏賊弘二郎(陸上自衛隊教育訓練研究本部)

海洋安全保障における日米同盟

長谷川惇(海上自衛隊幹部学校)

米空軍の現状等

樞村讓(航空自衛隊幹部学校)

討論

磯部晃一(川崎重工業株式会社)

司会兼討論

加々尾哲郎(陸上自衛隊教育訓練研究本部)

分科会① 自由論題

報告

日本のサイバー空間の利用を妨げる能力開発と課題

持永大(慶應義塾大学)

紛争後社会における規範伝播の政治性—コンゴ民主共和国における治安部門改革を事例として

小山淑子(早稲田大学)

国会の情報監視審査会の創設から6年—インテリジェンス機関に対する議会統制機能の評価

小林良樹(明治大学)

討論

藤重博美(青山学院大学)

司会兼討論

武蔵勝宏(同志社大学)

◆セッションⅢ 総会

15:10～15:30

2019年度会計監査報告および次期役員選任に関する議決(郵便)結果の報告

最優秀出版奨励賞・最優秀新人論文賞の発表ならびに表彰式

会長挨拶、次期会長(予定者)挨拶

◆セッションIV 特別講演

15:50~17:30

国家安全保障局長の任務を振り返って—日本の外交・安全保障

谷内正太郎 (初代国家安全保障局長・元外務事務次官  
富士通フューチャースタディーズ・センター理事長)

パネリスト

佐藤武嗣 (朝日新聞社)

司会者兼パネリスト

土山實男 (国際安全保障学会会長)

12月6日 (日)

◆セッションV

10:00~11:40

部会③ 安保改定60年—日米同盟史研究の最先端

報告

中国か、日本か—アメリカの選択と日米安保の形成

高橋慶吉 (大阪大学)

日米同盟における共同防衛体制の形成

板山真弓 (国土舘大学)

1980年代の日米共同演習の発展と評価

道下徳成 (政策研究大学院大学)

討論

松田康博 (東京大学)

司会兼討論

楠綾子 (国際日本文化研究センター)

部会④ 「軍備管理軍縮の終焉論」と日本の安全保障

報告

アメリカの政策にみる軍備管理軍縮終焉論とその影響

向和歌奈 (亜細亜大学)

多国間主義の現状と展望

高見澤將林 (東京大学)

軍備管理軍縮の「終焉」の歴史と現在—日本の政策への示唆

榎本珠良 (明治大学)

討論

池上雅子 (東京工業大学)

司会兼討論

宮岡勲 (慶應義塾大学)

◆セッションVI

13:00~14:40

部会⑤ ウィズ・コロナ時代の国際安全保障

報告

新型コロナが国際関係に与える影響

天野修司 (日本医療科学大学)

コロナ禍と中国の安全保障戦略

山口信治 (防衛研究所)

ウィズ・コロナ時代の日本の安全保障戦略の在り方

前田哲 (前内閣官房副長官補兼国家安全保障局次長)

討論 秋田浩之（日本経済新聞）  
司会兼討論 宮坂直史（防衛大学校）

## 部会⑥ 「アラブの春」後の中東安全保障

報告

「アラブの春」以降の中東安全保障の構図—シリア内戦を事例に

溝渕正季（名古屋商科大学）

イランの対シリア政策

貫井万理（文京学院大学）

サウジアラビアにとってのシリア内戦

近藤重人（日本エネルギー経済研究所）

討論

立山良司（元防衛大学校）

司会兼討論

中村覚（神戸大学）

## ◆セッションVII

15:00～16:40

## 部会⑦ トランプ外交の評価

報告

アメリカ・ファースト主義の検証—何が変わり、何が変わらなかったのか、そして何が残るのか

中山俊宏（慶應義塾大学）

相互依存の恐怖—中国にとってのトランプ外交

益尾知佐子（九州大学）

トランプ外交と米欧関係

渡邊啓貴（帝京大学）

討論

佐々木卓也（立教大）

司会兼討論

鶴岡路人（慶應義塾大学）

## 分科会② 自由論題

報告

進化政治学と安全保障研究—人間の心と紛争をめぐる新たな分析アプローチ

伊藤隆太（慶應義塾大学）

ロシアの対中国連携の理論的検討

山添博史（防衛研究所）

「安全保障化」による日欧 SPA の再考—価値規範の安全保障 守谷優希（一橋大学大学院）

討論

佐桑健太郎（青山学院大学）

司会兼討論

武田康裕（防衛大学校）